

平成 29 年 11 月 16 日

各 位

碧海信用金庫

格付けの見直しについて
～格付け「A+」、格付けの見通し「安定的」を13年連続で取得～

碧海信用金庫（理事長：石川 澄夫）は、このたび株式会社日本格付研究所（JCR）より、次の格付けを得ましたので、お知らせいたします。

記

1. 当金庫の格付け

○格付け機関	株式会社日本格付研究所（JCR）
○格 付 け	「A+」（シングルAプラス）… 据え置き
○格付けの見通し	「安定的」…………… 据え置き
○格付けの種類	長期発行体格付

※JCR格付の見方については別紙をご参照ください。

- ・格付けは昨年同様（据え置き）となりました。これにより当金庫は13年連続で「A+」の格付けを得たこととなります。
- ・格付けの見通しも昨年同様（据え置き）の「安定的」となりました。

2. JCRによる格付け理由

格付け理由につきましては、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp>）をご参照ください。

以 上

平成 29 年 11 月現在

【JCR格付の見方】

＜長期発行体格付とは＞

- ・ 長期発行体格付とは、債務者(当金庫を指す)の債務全体(お客さまからお預かりした預金などを包括的にとらえ、その債務の履行能力を評価したもので、広い意味で金融機関の信用力を表している。

＜格付けの位置づけ＞

- ・ JCRの長期発行体格付は、「AAA(トリプルA)」から「D」の11等級に区分され、「A(シングルA)」は上から3番目となる。なお、「A」の意味は、「債務履行の確実性は高い」とされている。
- ・ 「A+(シングルAプラス)」の「プラス」とは、同一等級である「A」の中でも相対的に高い位置にあることを表している。

○「格付け」の種類と定義

信用力 ↑ ↓	高い	AAA	債務履行の確実性が最も高い。	A+(シングルAプラス) A(シングルAフラット) A-(シングルAマイナス)
		AA	債務履行の確実性は非常に高い。	
		A	債務履行の確実性は高い。	
		BBB	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来債務履行の確実性が低下する可能性がある。	
		BB	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。	
		B	債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。	
		CCC	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。	
		CC	債務不履行に陥る危険性が高い。	
		C	債務不履行に陥る危険性が極めて高い。	
		LD	一部の債務について約定どおりの債務履行を行っていないがその他の債務については約定どおりの債務履行を行っている。	
	低い	D	実質的にすべての金融債務が債務不履行に陥っている。	

＜格付けの見通しの位置づけ＞

- ・ 格付けの見通しとは、格付けが中期的にどの方向に動く可能性があるかを示すものである。
- ・ JCRが定めている「格付けの見通し」は5種類あり、内容は以下の通りとなっている。

○「格付けの見通し」の種類と定義

ポジティブ	格上げの方向で見直される可能性が高い。
安定的	当面変更の可能性が低い。
ネガティブ	格下げの方向で見直される可能性が高い。
不確定	格上げと格下げのいずれの方向にも向かう可能性がある。
方向性複数	個別の債券や銀行ローンの格付け、発行体格付などが異なる方向で見直される可能性が高い。

※「不確定」「方向性複数」は、ごくまれに発生するとされている。